



2024-2025 Shari Rotary Club Bulletin

● 会長：森田 拓巳 ● 副会長：豊島 和敏、高木 壽一 ● 幹事：武藤 香苗
● 創立：1963年10月5日 ● 例会日時：毎週水曜日 12:00～13:00
● 事務所：〒099-4112 斜里郡斜里町港町1 ● 例会場：ホテルグランティア知床斜里駅前
TEL(0152)26-7978 FAX(0152)26-7980 〒099-4112 斜里郡斜里町港町16-10
TEL(0152)22-1700

● 斜里 RC 事務局メールアドレス sharirotary@peach.plala.or.jp

第 2967 回例会 2024 年 11 月 20 日(水)

発行:会報・広報・雑誌委

点鐘：森田 拓巳 会長

司会：田中 啓二 SAA

1. ゲストおよびビジター紹介 ～森田 会長

- ・斜里町社会福祉協議会 事務局長 林 宏樹 様
- ・ " 課 長 小林 真奈美 様

2. ロータリーソング ～我等の生業

3. 会長の時間 ～森田 会長

今回の例会より、座席の抽選制度を再スタートしてみました。いつ頃から中断していたかは、はっきり覚えてませんが、趣旨としては、着座場所の固定化が会員同士の交流を停滞させることになる、ということの対策のためです。座席の固定化も、裏を返せば安定した期間同じ場所で例会をすることが出来るという確約があるからだと思います。会場探しに苦労した時期も長かったので、良いことでもあるのかもしれないですが、今日から例会の進め方を少し変えてしばらく様子を見ていきたいと思います。

理事会にこのことを上程した時に、責任者は誰になるのかという話になりまして、SAA 担当ということに話がまとまり、結果的に田中 SAA の仕事を増やしてしまったのですが、今日は改めて SAA の仕事をお話させていただきたいと思います。

「SAA」とは、(Sergeant at Arms) の略で議会や法廷の秩序を維持し、命令を執行する衛視、守衛官から来ている。クラブごとに差はあると思いますが、役割の具体例は、①例会の司会進行 ②例会場への入場、退場許可、例会場の開閉 ③早退、遅刻承認や拒否 ④私語に対する警告 ⑤卓話の時間厳守 ⑥例会場の秩序を乱す行為に対する警告と退場命令 ⑦例会場の設営(国旗などの掲揚、テーブルの配置、座席の指定、食事の手配)、チェック ⑧お客様の誘導 ⑨ニコニコ箱の管理とその募金状況の報告 ⑩「楽しい意義のある例会になっているか」のチェックとアクション、とざっと挙げただけでも SAA の役割は多岐にわたります。会員全員が SAA の仕事を理解して協力し、スムーズな例会進行をこれからもお願いいたします。



4. 幹事報告 ～武藤 幹事

- ・「能登半島豪雨災害支援金」が合計で 20,138 円となりました。皆さまのご協力有難うございました。

5. 委員会、その他の報告 ～森田 会長

- ・遠藤 親睦活動委員長～お届けしました「年末家族親睦パーティー」の案内メールの中で一部説明不足の箇所がありましたので改めて説明させていただきます。出欠欄の中の「その他」ですが、ここには「ロータリーの元会員」とか「ロータリーに入れたい人」などの人数を記入する欄ですので出来るだけたくさんの方に声をかけてお誘いくださるようお願いいたします。
- ・田中 SAA～オークションの出品は、今日が締め切りですが、オークション当日まで受け付けますのでよろしくようお願いいたします。こちらの計画としては、入札方式と会場でのオークションを行います。早めの出品をお願いいたします。

6. 本日のプログラム ~森田 会長

◆ゲスト卓話

◆斜里町社会福祉協議会 事務局長 林 宏樹 様

皆さまこんにちは、いつもロータリークラブの皆さま方には日頃からお世話になっております。また、昨年に引き続きましてご招待いただきましてありがとうございます。

今日は「シャリ デ 食堂」のお話ということで聞いておりまして、実際に主催しております斜里町ボランティア連絡協議会の方々にとっても非常に励みになるのではないかなと思っております。

早速ですが、「シャリ デ 食堂」について触れさせていただきたいと思っております。

「シャリ デ 食堂」を始めるに至った経緯から触れさせていただきたいと思っておりますが、主催しておりますボランティア協議会の話なんですが、この事業を始める前は主だった自主的な活動はほとんど無かったという状態でした。実際には何をしていたのかと言うと、例えばロータリークラブの皆さんも参加されていたと思いますが、日の出学園の学園祭であったり、やすらぎの園のイベントであったり、そういうことに対して協力をしてきたというかたちになっています。すなわち「お願いボランティア」というかたちで会を運営してきたという流れになっております。

そもそも、ボランティア活動というのは、自ら自発的な意思に基づいて活動するというのが根本となるなかで、他の事業に依存してきたのが、今それも活動となっています。

ただ、コロナ禍によりまして、今まで活動してきた事業とか協力依頼などが中止や縮小されてきたり、なかなか声がかからなくなってきたというようなこともありまして、会の活動も衰退してきたというようなことになっております。

そのような状況から、このままでは活動自体が先細りになるだろう、会として継続していく意義についても定例会の中でもお話をさせていただきながら、自分たちで何が出来ることはないかということも含めて例会の中で話し合いを重ねてきました。結果として、「地域食堂」に落ち着いたのですが、「地域食堂」を始める前にまず「子供食堂」でスタートしようかという意見もありました。

「子供食堂」のイメージとして、やはり貧困家庭というようなイメージがあり、特に小さな町で実施していると、貧困家庭なのか、親がいないのかというように詮索されるようなこともあり、また、一人暮らしの高齢者の食事の問題、また普段出歩くことの少ない方にも気軽に来て欲しいなということから、「地域食堂」をやってみようかという話しになりました。

周辺の社協から情報提供をいただきながら、2カ所を視察しました。その結果、非常に前向きになれたことにより、自分たちでもやっていけるなと実感し、令和5年3月に初回の「地域食堂」を開催するに至っています。(以下略)



7. ニコニコ B O X ~遠藤 親睦活動委員長

- ・本人誕生祝~丹羽 会員

8. 出席報告 ~藤田(典) 出席・プログラム委員長

- ・本日出席~29名中(出席免除会員1名含む)17名出席(出席率:60.71%)

☆幹事より次回例会の案内

- ・次回は11/30(土)第2968回例会~年末家族親睦パーティー(担当:親睦活動委員会)



2024-2025 国際ロータリーのテーマ

ロータリーのマジック

斜里 RC 会長のテーマ

奉仕は人の為ならず